

F2-55

東北地方太平洋沖地震の津波被災地における児童の地域認識に関する研究

—(その2)四倉小児童のおすすめまちあるきルートの特徴—

A Study on Local Recognition of Elementary Children in the Great East Japan Earthquake and Tsunami Disaster Area
(Part2) About characteristics of “Recommendation Route of Yotsukura”

○石渡勇貴¹, 横内憲久², 岡田智秀², 押田佳子², 大塚宏樹³, 阿部周斗¹

*Yuki Ishiwata¹, Norihisa Yokouchi², Tomohide Okada², Keiko Oshida², Hiroki Ohtsuka³, Shuto Abe¹

Abstract: This study aims to clarify the characteristics of “Recommendation Route in Yotsukura town, Iwaki city”, were proposed by elementary school students. We analyzed text data were corrected from workshop and the pamphlet was made by students. As a result, we clarified that the students wish to relate with coastal area in their home town, Tsunami disaster area, Yotsukura.

1. はじめに—前稿では、四倉小学校第6学年の全児童らで検討した四倉地区の地域資源(おすすめの場所)を把握した。そこで、本稿では、児童らが「おすすめの場所」をもとに提案した当地区の「おすすめまちあるきルート」(地域認識ルート)の特徴を考察する。

2. 研究方法—上述の考察を行うため、Table1 に示すように、全2回のワークショップ(WS1, WS2)と、その後に児童と担任教諭らで制作した「四倉おすすめまちあるきパンフレット(Figure1)」(以下、「パンフ」)を対象として、ルート構成の特徴を分析する。

3. 結果および考察—WS1, 2および「パンフ」のそれぞれで A~J の各班が提案したまちあるきルートとそのテーマおよび構成距離を Figure2 に示す。以降では、Figure2 をもとに、前稿で特徴が示された海側居住グループ(A~E 班)と山側居住グループ(F~J 班)の別に各コースの構成について特色を述べていく。

海側居住グループの A~E 班をみると、いずれも JR 常磐線よりも海側にルートを設定していることがわかる。前稿より、この海側居住グループは、おすすめの場所として「海」に強く関係する場所を指摘していたこともふまえると、当地区を「海のまち」として印象づけたいとする意識が伺える。

続いて山側居住グループである F~J 班に着目すると、WS1 では JR 常磐線をまたいで山側から海側に至る広範囲にわたってルートを設定したのに対し、WS2 以降では、山側の居住地周辺にコースが縮小される傾向がみられた。このことについて、全班のコースの設定距離に着目すると、WS1 から WS2 にかけて、平均距離が 3.9km から 2.7km へと全体的に短縮される傾向にあり、特に山側居住グループ(F~J 班)は、いずれも 1 km 以上もの大幅な縮小化を行い、結果として 3

km 以内のコースに至った。これらのことから、まちあるき体験(WS2)の後に山側居住の F~J 班が海側のコースを除いた理由として、無理のない歩行距離を提案したためと考えられる。しかし、このグループ(F~J 班)のルートの「テーマ」について着目すると、まちあるき後(WS2 後)に「海」の語句を含めた班が大部分 (F, G, H, I 班)にみられた。このことから、山側居住グループであっても「海」に対する関心の強さが伺える。

4. まとめ—前稿と本稿の結果を通じてみると、児童らが地元地域として他者に紹介したい誇れる場所として、「海」との強い関係があげられるという実態が明らかになった。このことより、津波被災地に居住する児童らではあるが、四倉の象徴として「海」を位置づけ、その海と今後も密接に繋がってほしいという願望を捉えることができたことを認識する。

5. 謝辞

今回のワークショップ開催にあたり、いわき市立四倉小学校の渡邊隆校長先生および第6学年担任の太田美和先生・今野智功先生をはじめ、四倉ふれあい市民会議(会長・佐藤雄二氏)の皆様、福島県いわき建設事務所、いわき市四倉支所など、たくさんの方々にご協力いただきました。ここに記して厚く御礼申し上げます。

Table1. Investigation outline

[表：筆者作成]

| | WS1 | WS2 | パンフレット |
|------|---|-------------------------|-----------------------------------|
| 調査対象 | WS1 におけるグループワークの記録・表現内容 | WS2 におけるグループワークの記録・表現内容 | WS2 後に児童らのみでまとめた「おすすめまちあるきパンフレット」 |
| 調査期間 | 2013 年 9 月 1 日(日)~9 月 27 日(金) | | |
| 調査内容 | それぞれの調査対象より、おすすめまちあるきルートおよびおすすめの場所を抽出する | | |



Figure1. Example of pamphlets

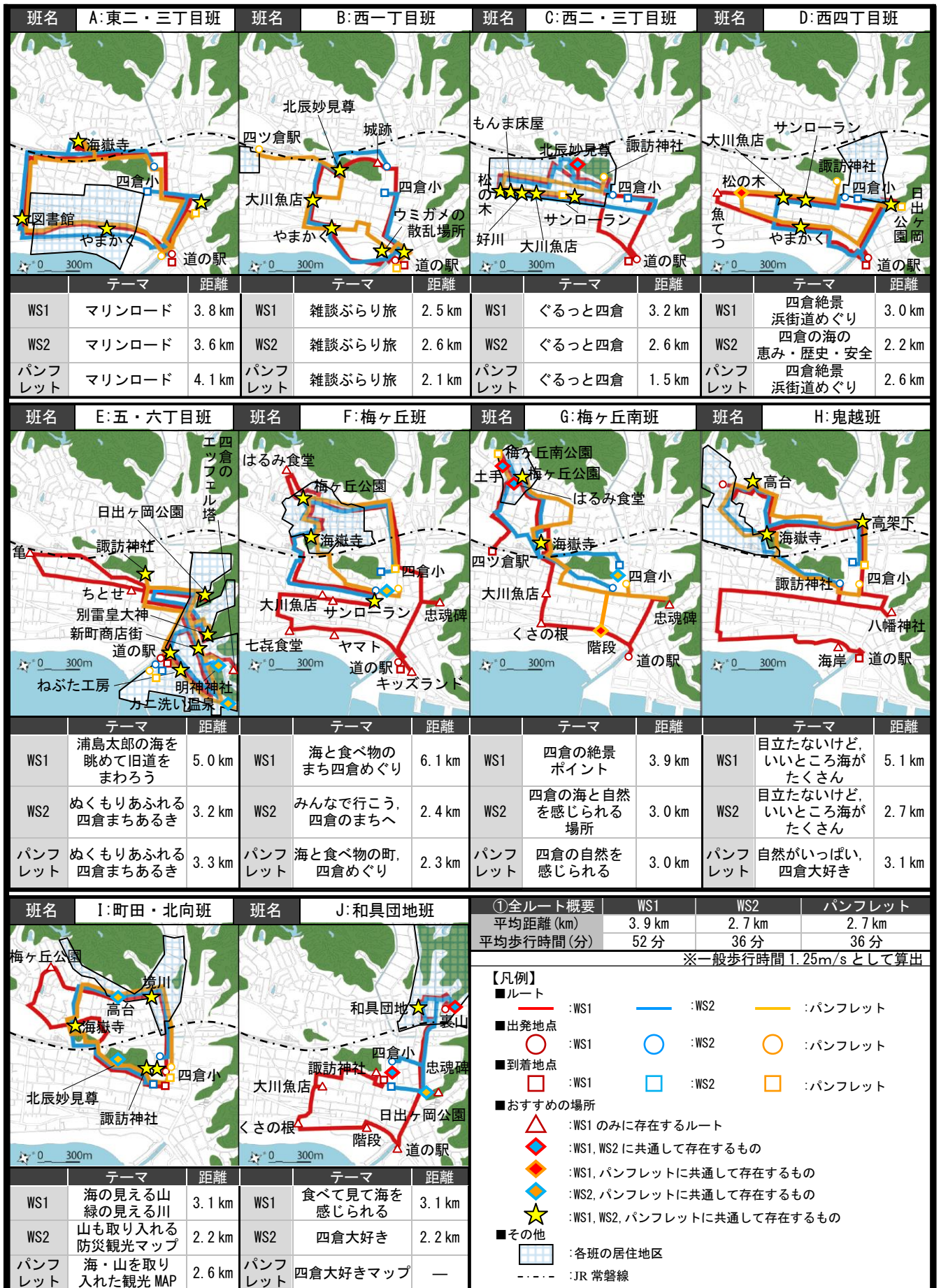


Figure2. "Recommendation Route in Yotsukura town" proposed by each group

[図：筆者作成]